

# 第1章 世羅町を取り巻く現状と課題

## 1-1 世羅町の現状

### (1) 人口・世帯の動向

#### ア) 人口の推移と見通し

本町の総人口は減少の一途をたどり、平成2(1990)年の21,684人から令和2(2020)年には15,125人と30年間で約7千人減少しています。令和27(2045)年には1万人を下回り、9,173人となることが予測され、今後も人口減少が続く見込みです。

年齢別の推移をみると、年少人口(15歳未満)や生産年齢人口(15~64歳)の減少が顕著にみられます。老年人口(65歳以上)も、令和7(2025)年以降減少すると見込まれています。

図 年齢3区分別人口の予測

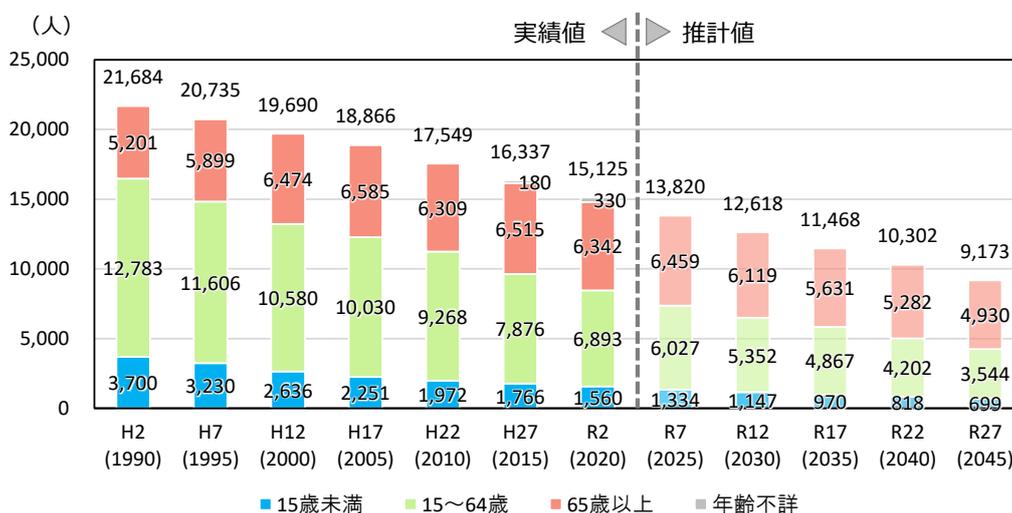
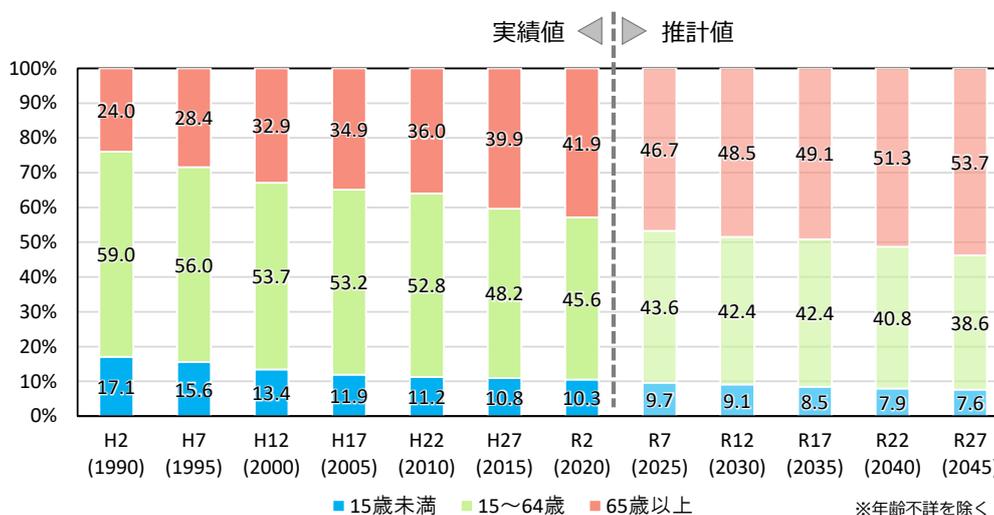


図 年齢3区分別人口の予測 (構成比)

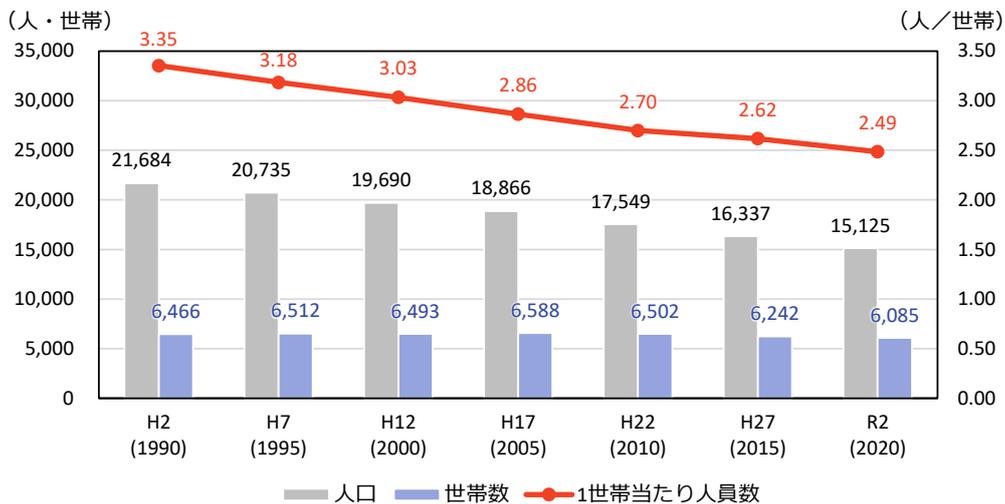


出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

## イ) 世帯数の推移

世帯数は、平成 17 (2005) 年をピークに減少傾向となっており、令和 2 (2020) 年には 6,085 世帯で、平成 2 (1990) 年からの 30 年間で約 400 世帯減少しています。1 世帯当たりの人員は一貫して減少し、令和 2 (2020) 年では、2.49 人/世帯となっています。

図 人口・世帯数の推移



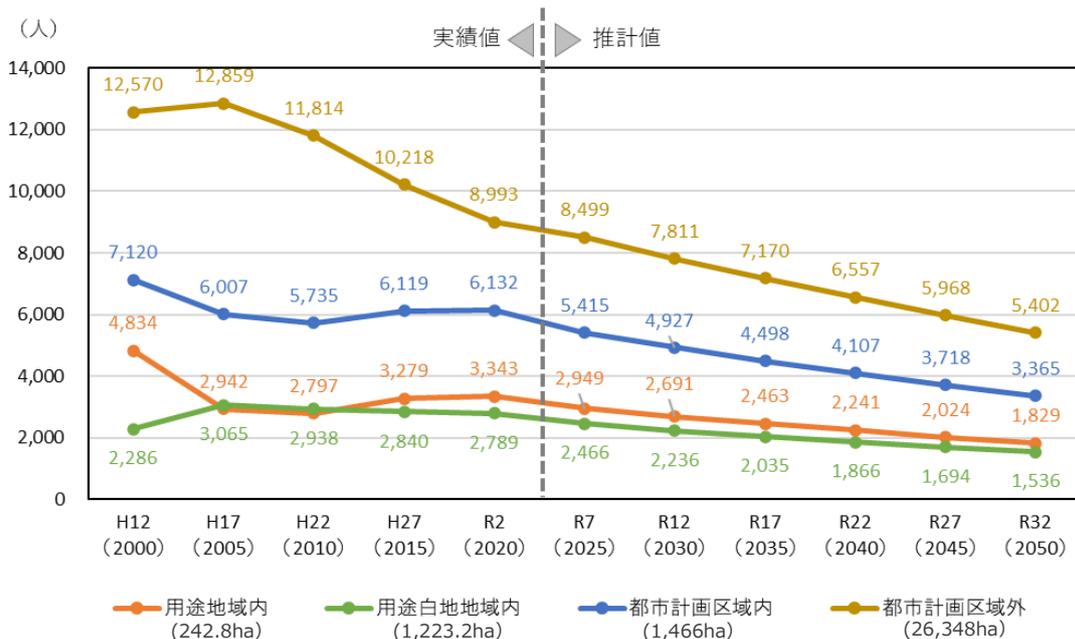
出典：国勢調査

## ウ) 区域別人口の推移

本町は、面積の約 95% を占める都市計画区域外に人口の約 60% が居住しています。

都市計画区域内外、用途地域内外のいずれも人口減少の傾向ですが、都市計画区域外の人口減少が最も顕著です。用途地域内外では大きな差はありませんが、用途地域内がやや減少の幅が多くなっています。用途地域内の人口密度は、令和 2 (2020) 年現在 13.8 人/ha と低く、今後、人口減少に伴いさらに低下することが見込まれます。

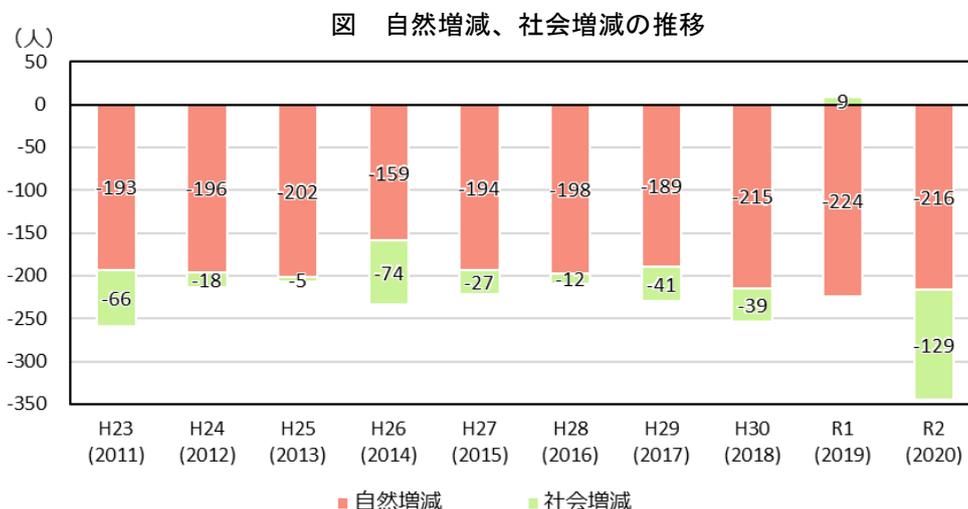
図 区域別人口の推移



出典：令和 3 年都市計画基礎調査

## エ) 自然増減、社会増減の推移

人口動態についてみると、高齢化が進行する状況下において、自然減が顕著です。転出先は広島市が176人と最も多く、次いで三原市、東広島市と続きますが、三原市や東広島市などの隣接市は転出超過に対して、人口の多い広島市や福山市は転入超過となっています。

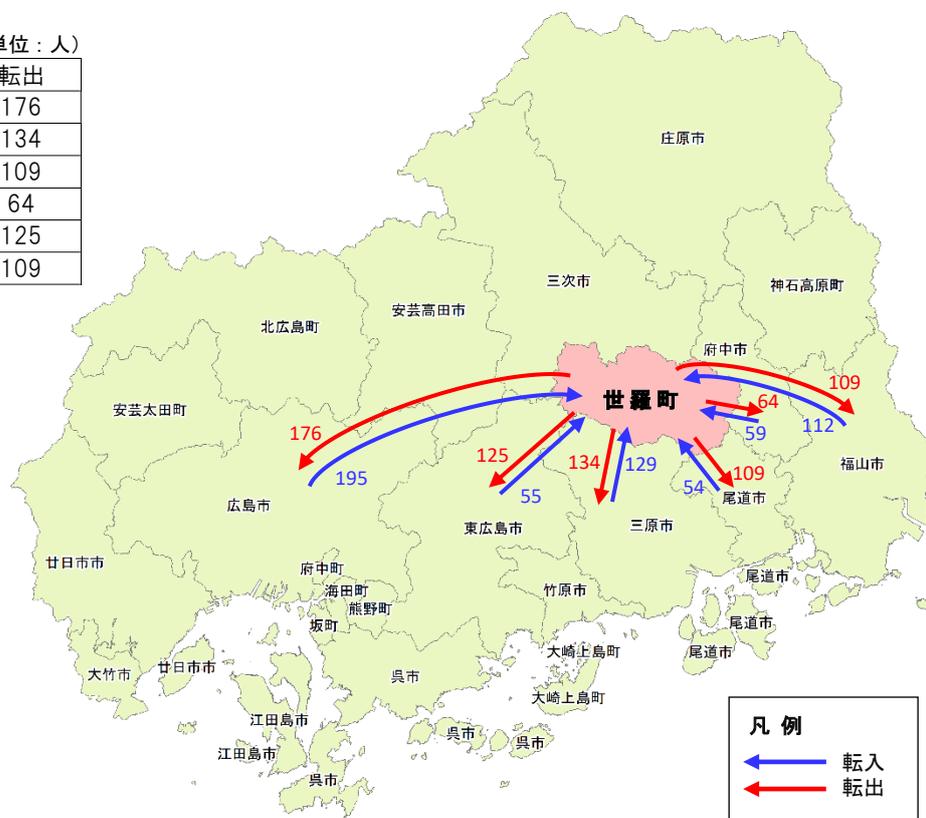


出典：都市計画基礎調査（世羅町住民基本台帳人口動態（社会減・自然減の推移））

図 主要な転入元・転出先（平成27年～令和2年）

(単位：人)

	転入	転出
広島市	195	176
三原市	129	134
福山市	112	109
府中市	59	64
東広島市	55	125
尾道市	54	109

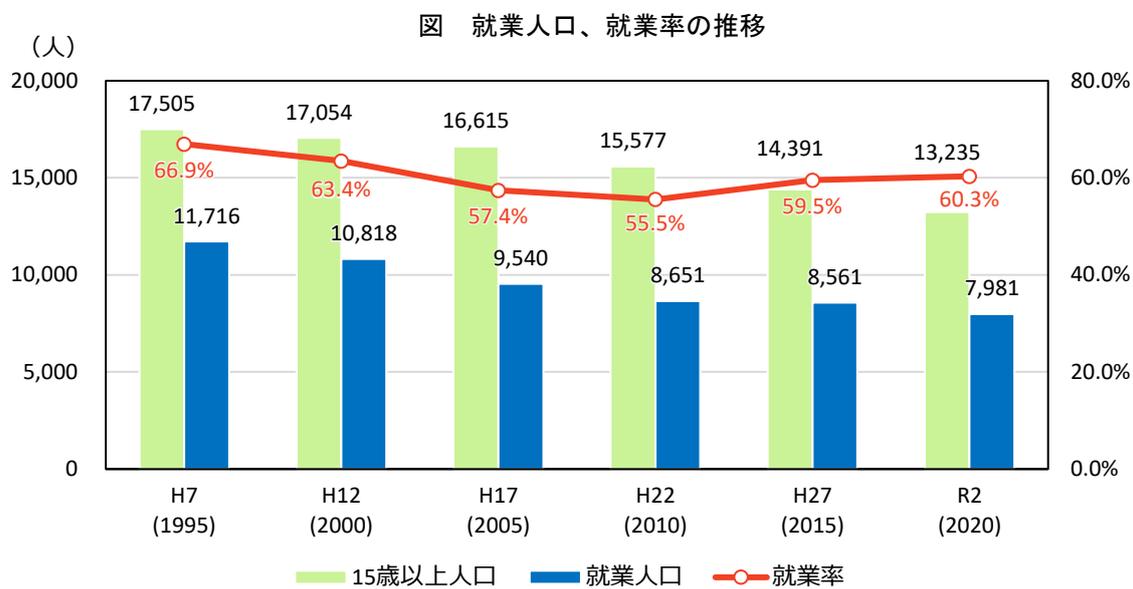


凡例  
 ← 転入  
 → 転出

出典：令和2年国勢調査

## オ) 就業人口の推移

就業人口は、15歳以上人口の減少に伴い減少していますが、就業率は平成22(2010)年以降増加傾向にあります。



出典：国勢調査

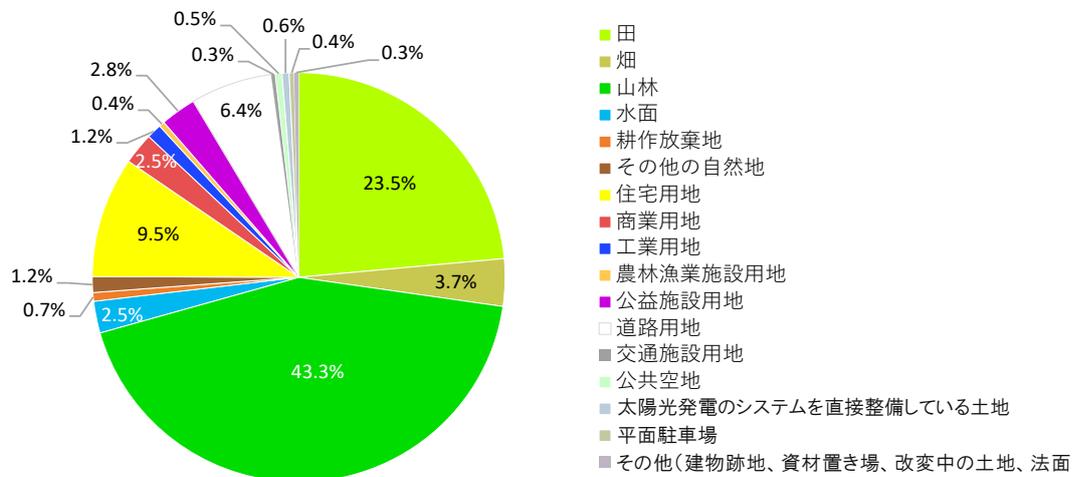
## (2) 土地利用の動向

### ア) 土地利用現況

都市計画区域内の土地利用は、田や畑、山林を含む自然的土地利用が合わせて75.1%を占めています。

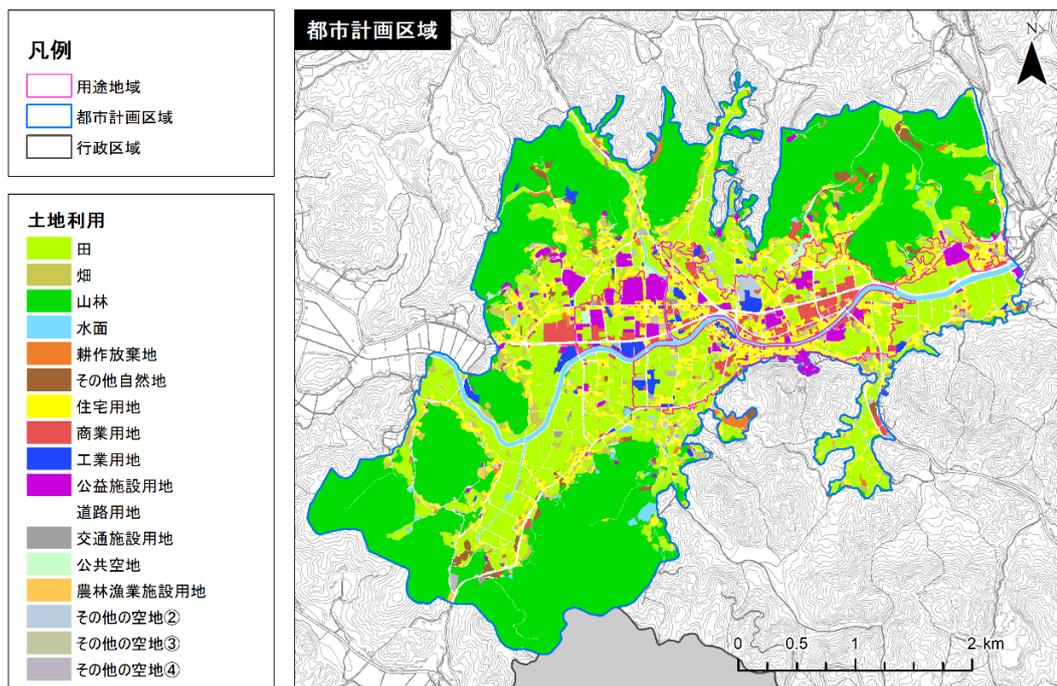
土地利用現況図を見ると、用途地域内では芦田川の北側において特に住宅用地や商業用地などの都市的土地利用が多くなっています。用途白地地域においては、山林部以外では田の利用が多く見られ、山林と田の境界部周辺を通る道路沿道などに住宅用地が点在しています。

図 土地利用面積割合



出典：令和3年都市計画基礎調査

図 土地利用現況

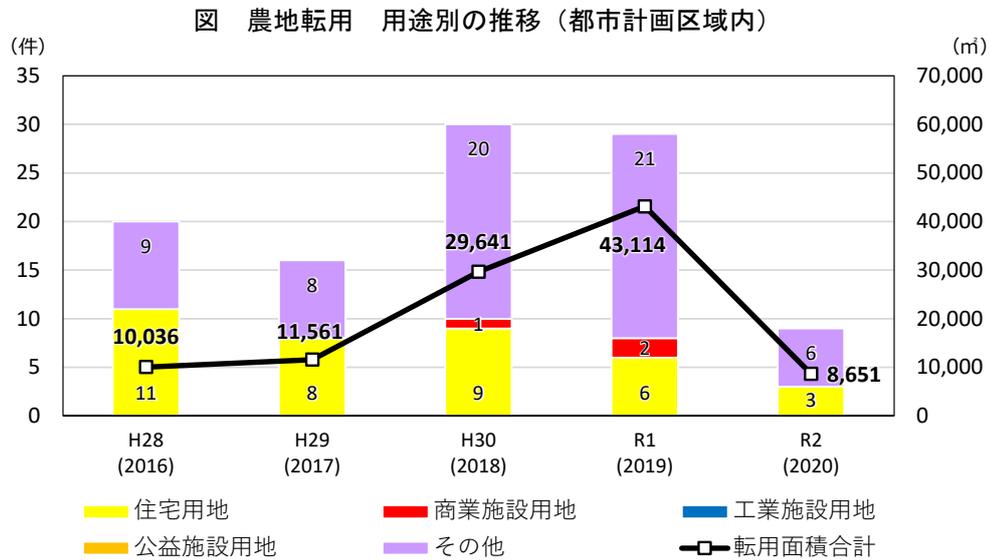


出典：令和3年都市計画基礎調査

## イ) 農地転用

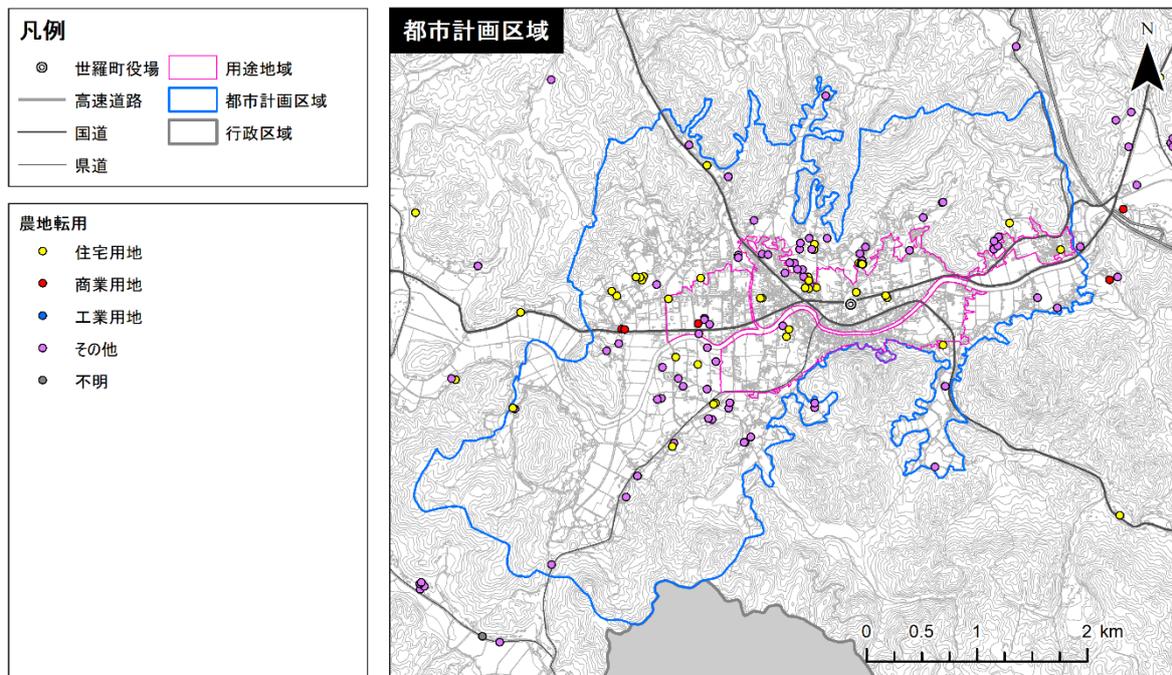
都市計画区域内における農地転用の件数は、平成30(2018)年、令和元(2019)年で「その他」(太陽光発電システムなど)の件数増により増加していますが、令和2年で大幅に減少しています。

住宅用地への転用は年間3~11件となっており、用途地域内の約5割、用途白地地域内の約3割を占めています。



出典：令和3年都市計画基礎調査

図 農地転用位置図 (平成28(2016)年~令和2(2020)年)



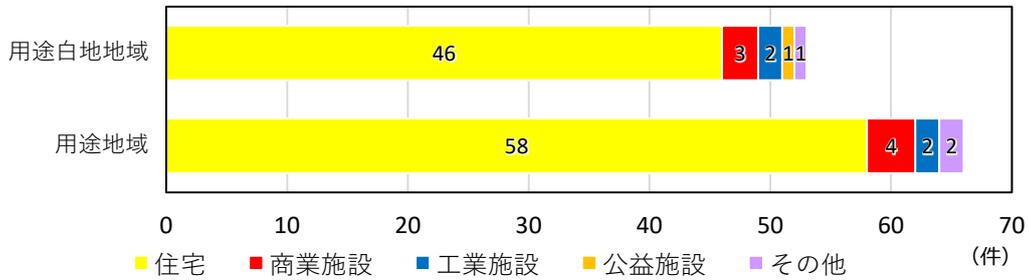
出典：令和3年都市計画基礎調査

## ウ) 新築動向

都市計画区域内の令和2(2020)年までの5年間における新築の件数は、用途地域内がやや多い状況ですが、用途地域内外で大きな差はないといえます。

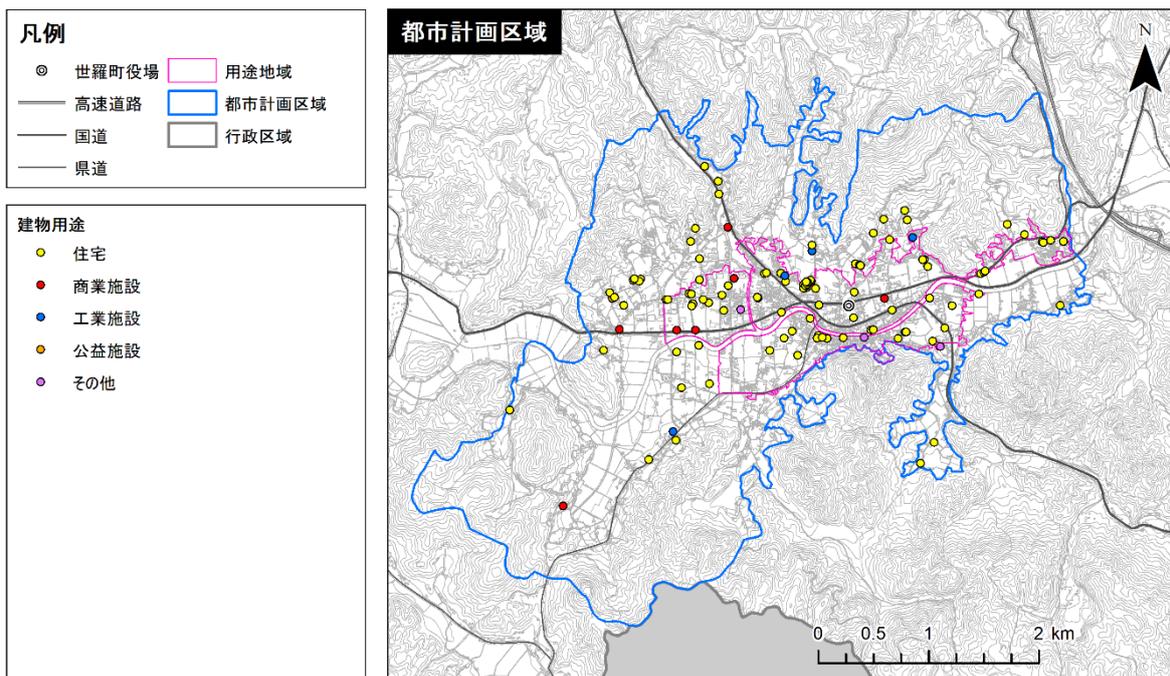
用途の内訳は用途地域、用途白地地域ともに住宅が約9割を占めています。

図 区域別新築件数 (平成28(2016)年～令和2(2020)年)



出典：令和3年都市計画基礎調査

図 新築分布 (平成28(2016)年～令和2(2020)年)

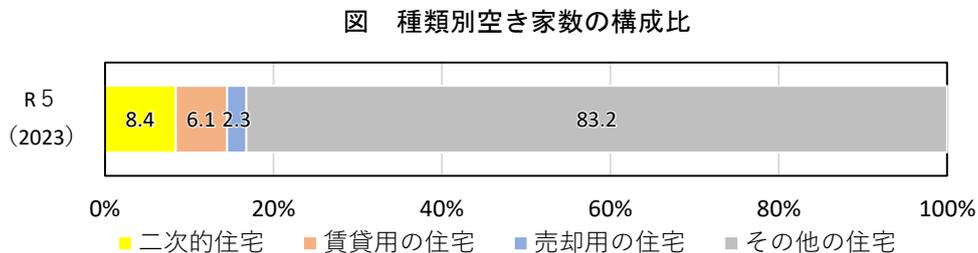
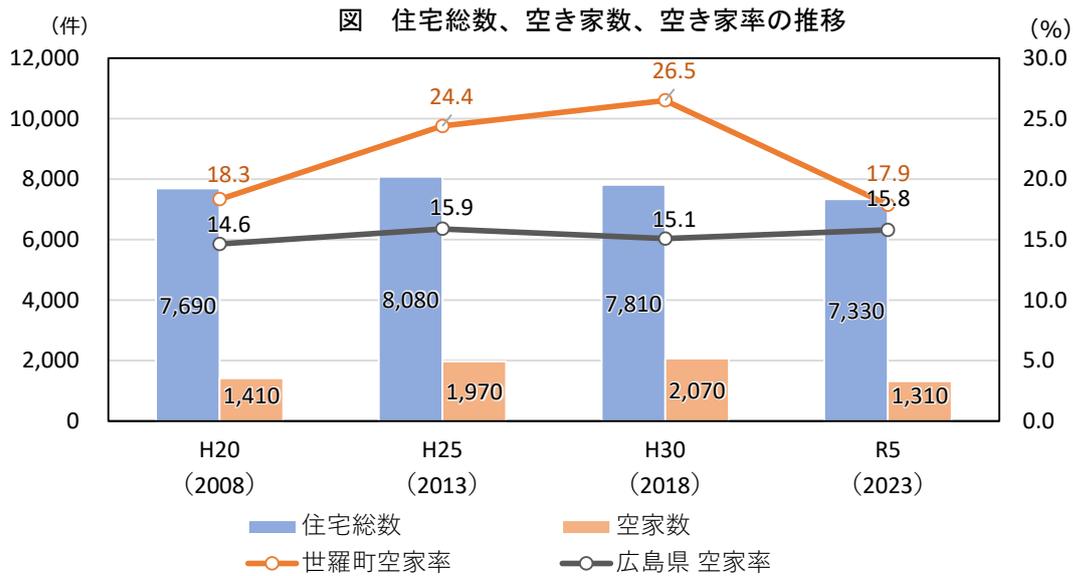


出典：令和3年都市計画基礎調査

## エ) 空き家分布

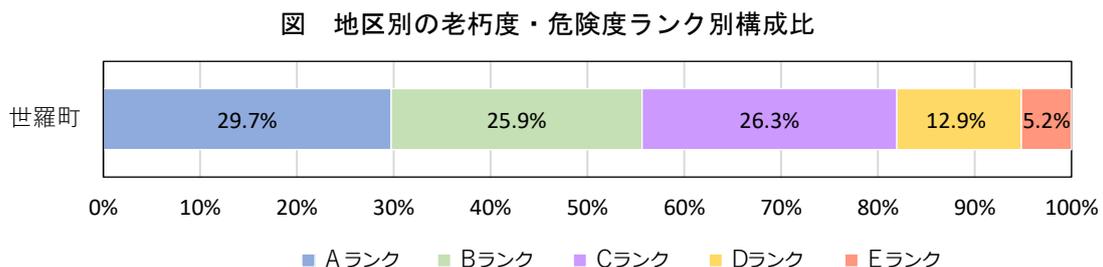
本町の住宅総数は、平成 20(2008)年から平成 25(2013)年にかけて 390 件増加しましたが、その後減少し、令和 5(2023)年には 7,330 件となっています。一方で、空き家数は平成 30(2018)年まで増加し、2,070 件、空き家率 26.5%となりましたが、令和 5(2023)年には 1,310 件(17.9%)に減少しています。

空き家の種類別にみると、令和 5(2023)年では、その他の住宅(賃貸用や売却用、二次的利用以外の住宅で長期にわたって不在の住宅など)の占める割合が最も大きく 8 割以上となっています。



出典：住宅・土地統計調査

世羅町空き家実態調査による空き家の建物の老朽度・危険度のランク別を見ると、小規模の修繕により再利用が可能なAランク(29.7%)と、管理が行き届いていないが当面の危険性は少ないBランク(25.9%)を合計したA・Bランクが55.6%、管理不全・老朽化により利活用ができないC～Eランクの合計が44.4%となり、利用可能な空き家が多いといえます。

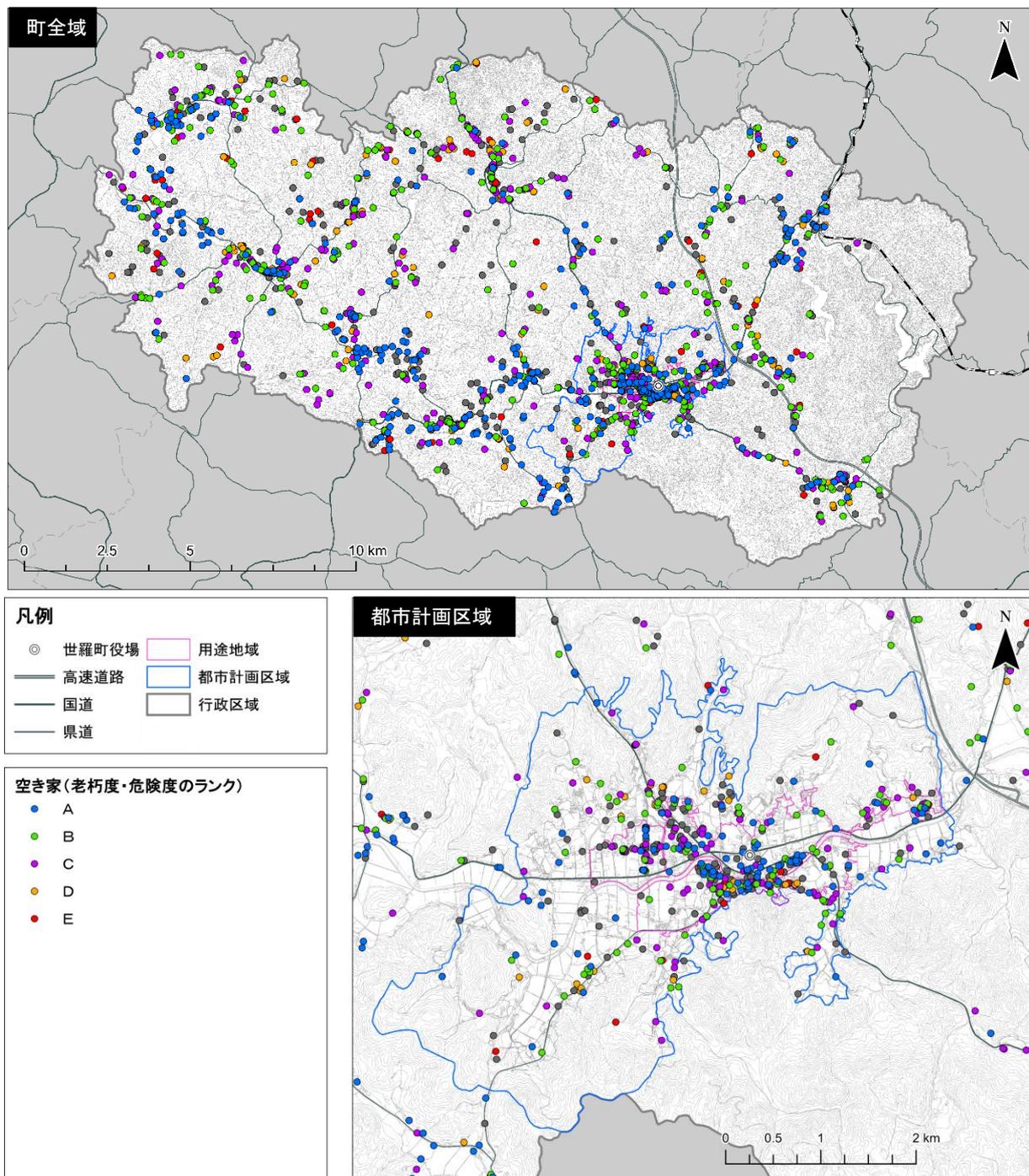


出典：世羅町空き家実態調査(令和6年3月)

表 建物の老朽度・危険度のランク

ランク		評定内容
活用可能	A	小規模の修繕により再利用が可能
	B	管理が行き届いていないが当面の危険性は少ない
管理不全	C	管理が行き届いておらず損傷が激しい
	D	倒壊の危険性があり修繕や解体などの緊急度が高い
老朽危険	E	倒壊の危険性があり解体などの緊急度が極めて高い

図 空き家分布



出典：世羅町空き家実態調査（令和6年3月）

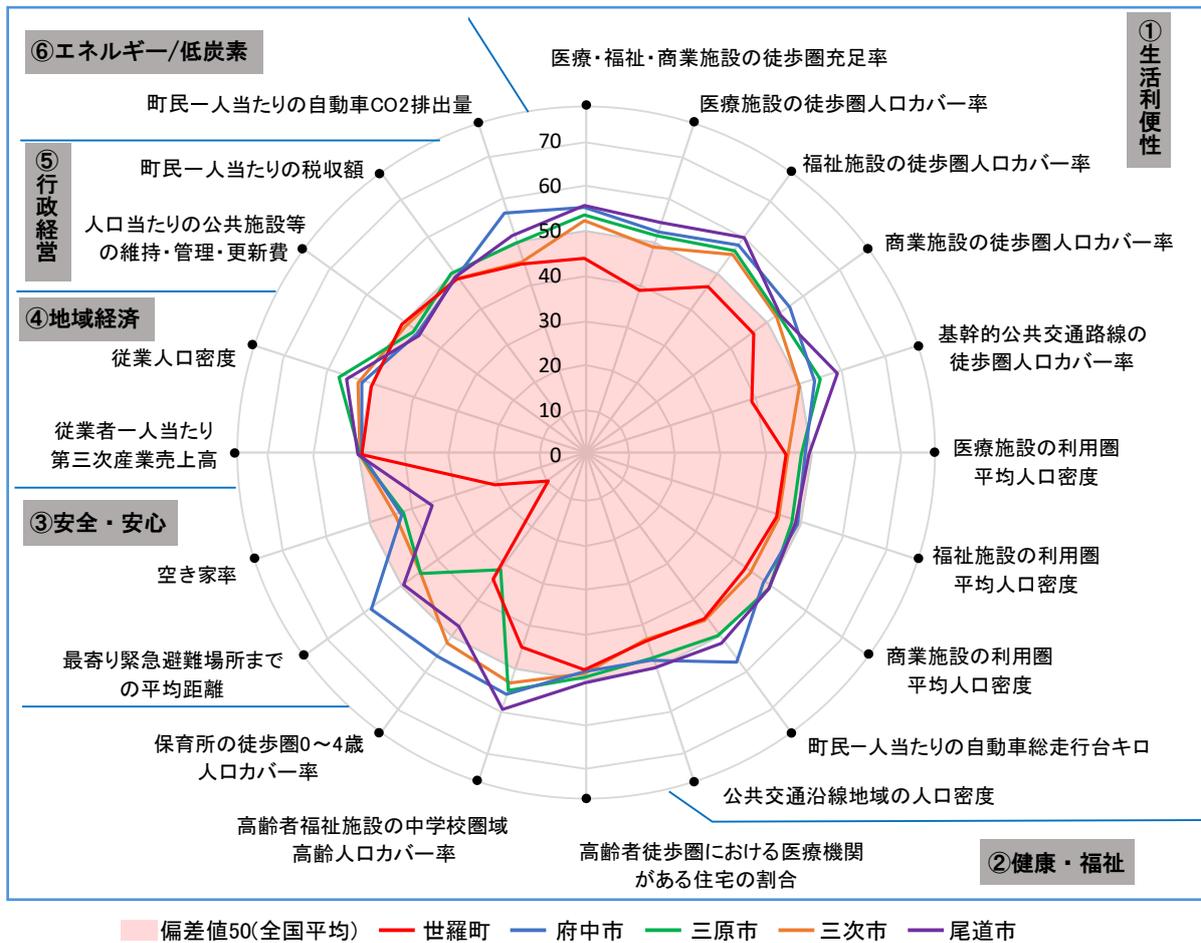
### (3) 都市機能

#### ア) 都市構造特性

都市構造特性について全国平均と比較した場合、全ての項目で全国平均と同程度か全国平均を下回る結果となっており、特に最寄り緊急避難場所までの平均距離や空き家率の偏差値が際立って低くなっています。

本町周辺の4市（府中市、三原市、三次市、尾道市）と比較すると、多くの指標が4市を下回っています。

図 偏差値レーダーチャート



出典：国土交通省 令和2年度都市モニタリング・レーダーチャート自動作成ツール

※偏差値が高くなるほど低い評価となる項目（「市民一人当たりの自動車総走行台キロ」、「最寄り緊急避難場所までの平均距離」、「空き家率」、「人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費」、「市民一人当たりの自動車CO2排出量」）は100から引いた値を偏差値として表示

※徒歩圏は800m、高齢者徒歩圏は500m

## (参考) 世羅町の都市機能別人口カバー率 (令和5(2023)年時点)

数値はGISを活用し、各施設について徒歩圏人口を算出した概算値

2020年人口は国勢調査人口、2040年人口は社人研推計人口

## 医療施設(病院、一般診療所、歯科診療所、調剤薬局)

区域区分	人口		徒歩圏人口		圏域面積 (ha)	徒歩圏人口密度(人/ha)		カバー率(%)	
	2020	2040	2020	2040		2020	2040	2020	2040
都市計画区域	5,691	4,282	4,701	3,534	624.2	7.5	5.7	82.6%	82.5%
用途地域	3,349	2,497	3,168	2,359	225.6	14.0	10.5	94.6%	94.5%
用途白地地域	2,342	1,785	1,532	1,175	398.6	3.8	2.9	65.4%	65.8%
都市計画区域外	9,434	6,020	1,351	833	1,257.7	1.1	0.7	14.3%	13.8%
合計(行政区域)	15,125	10,302	6,052	4,367	2,506.1	2.4	1.7	40.0%	42.4%

出典:タウンページ、病院なび

## 商業施設(食料品、コンビニ、その他商業施設)

区域区分	人口		徒歩圏人口		圏域面積 (ha)	徒歩圏人口密度(人/ha)		カバー率(%)	
	2020	2040	2020	2040		2020	2040	2020	2040
都市計画区域	5,691	4,282	4,748	3,589	659.2	7.2	5.4	83.4%	83.8%
用途地域	3,349	2,497	3,349	2,497	239.0	14.0	10.4	100.0%	100.0%
用途白地地域	2,342	1,785	1,399	1,093	420.2	3.3	2.6	59.7%	61.2%
都市計画区域外	9,434	6,020	235	158	369.6	0.6	0.4	2.5%	2.6%
合計(行政区域)	15,125	10,302	4,983	3,747	1,688.0	3.0	2.2	32.9%	36.4%

出典:全国大規模小売店舗総覧2021、タウンページ、施設HP

## 福祉施設(高齢者福祉施設)

区域区分	人口		徒歩圏人口		圏域面積 (ha)	徒歩圏人口密度(人/ha)		カバー率(%)	
	2020	2040	2020	2040		2020	2040	2020	2040
都市計画区域	5,691	4,282	4,343	3,239	602.3	7.2	5.4	76.3%	75.7%
用途地域	3,349	2,497	2,890	2,141	210.0	13.8	10.2	86.3%	85.8%
用途白地地域	2,342	1,785	1,454	1,098	392.3	3.7	2.8	62.1%	61.5%
都市計画区域外	9,434	6,020	1,015	630	666.6	1.5	0.9	10.8%	10.5%
合計(行政区域)	15,125	10,302	5,358	3,869	1,871.1	2.9	2.1	35.4%	37.6%

出典:ワムネット

## 子育て支援施設(保育園、こども園)

区域区分	人口		徒歩圏人口		圏域面積 (ha)	徒歩圏人口密度(人/ha)		カバー率(%)	
	2020	2040	2020	2040		2020	2040	2020	2040
都市計画区域	5,691	4,282	3,490	2,602	349.7	10.0	7.4	61.3%	60.8%
用途地域	3,349	2,497	2,862	2,129	198.9	14.4	10.7	85.4%	85.3%
用途白地地域	2,342	1,785	629	473	150.8	4.2	3.1	26.8%	26.5%
都市計画区域外	9,434	6,020	1,506	963	651.3	2.3	1.5	16.0%	16.0%
合計(行政区域)	15,125	10,302	4,997	3,565	1,350.7	3.7	2.6	33.0%	34.6%

出典:世羅町広報誌

## 金融機関(銀行、信用組合、農業協同組合、郵便局)

区域区分	人口		徒歩圏人口		圏域面積 (ha)	徒歩圏人口密度(人/ha)		カバー率(%)	
	2020	2040	2020	2040		2020	2040	2020	2040
都市計画区域	5,691	4,282	3,839	2,871	404.9	9.5	7.1	67.5%	67.0%
用途地域	3,349	2,497	3,097	2,303	220.9	14.0	10.4	92.5%	92.2%
用途白地地域	2,342	1,785	742	568	184.0	4.0	3.1	31.7%	31.8%
都市計画区域外	9,434	6,020	3,585	2,297	2,715.4	1.3	0.8	38.0%	38.2%
合計(行政区域)	15,125	10,302	7,424	5,168	3,525.3	2.1	1.5	49.1%	50.2%

出典:銀行DB、郵便局HP、タウンページ

## (4) 公共交通

### ア) 公共交通網

鉄道は、福山～塩町（三次市）間を運行するJR福塩線の備後三川駅があり、1日上り・下りでそれぞれ5便が運行しています。

バス路線は、5路線が運行し、町内の各地区や尾道市、三原市、三次市などの隣接都市間を連絡しています。また、高速バス「ピースライナー（甲山・甲奴～広島）」、「きんさいライナー（三次～福山）※運休中」があります。

町内の移動手段として、電話予約によるデマンド交通システムである「せらまちタクシー」が運行しています。津名地区及び黒川地区において、町外の病院への移動手段として、電話予約によるデマンド交通システムである「世羅町自家用有償旅客運送」が運行しています。

図 公共交通網図

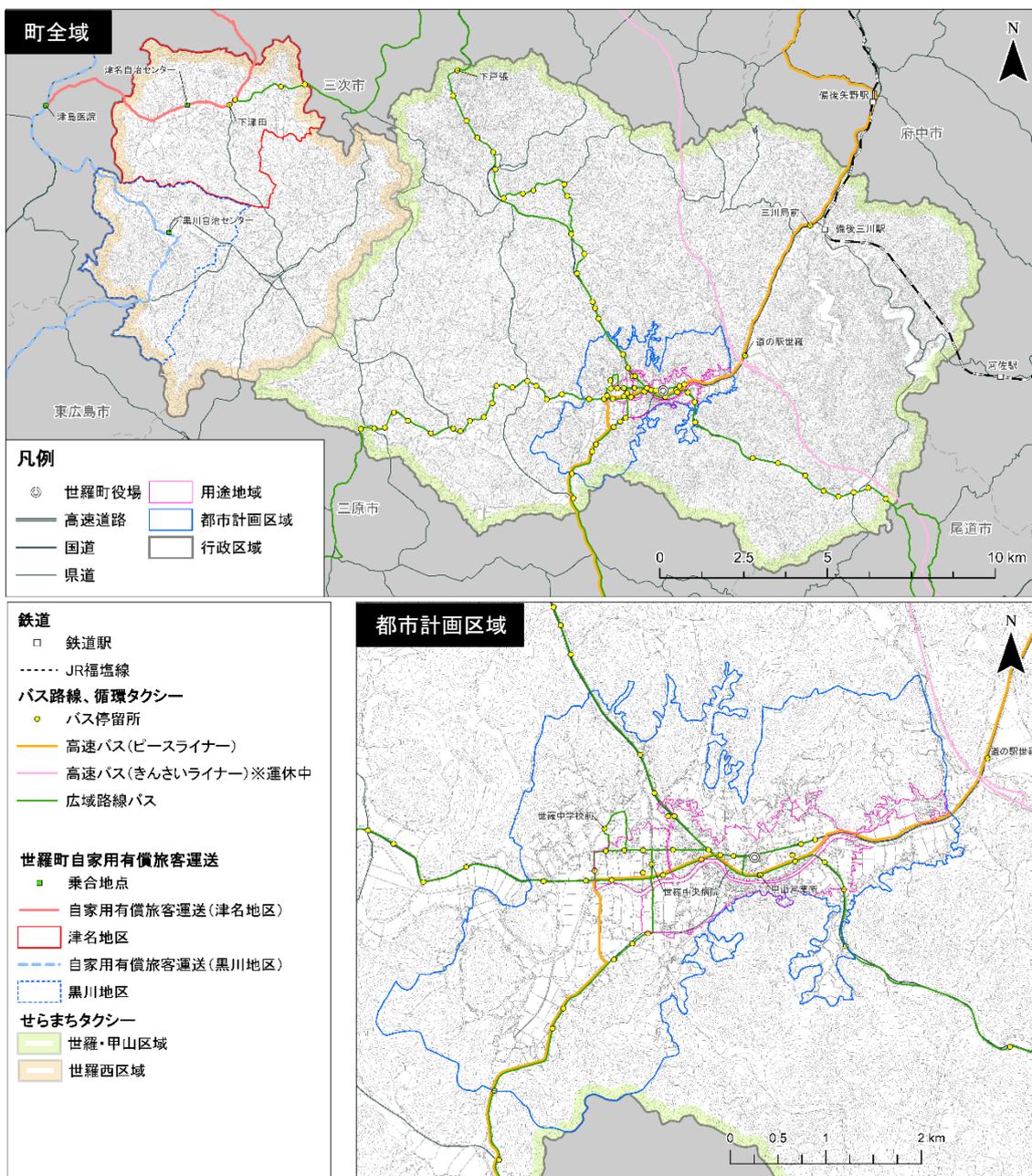


表 運行状況一覧

令和6年4月時点

区分	路線	運行事業者	運行経路	便数(片道0.5便)			備考	
				平日	土	日祝		
鉄道	福塩線	西日本旅客鉄道(株)	福山駅～塩町駅(三次)	5	5	5		
高速バス	ピースライナー	(株)中国バス 広島交通(株)	甲山・甲奴～広島	4	4	4		
	きんさいライナー	(株)中国バス	三次～福山	-	-	-	運休中	
広域路線 バス	甲山～三次線	(株)中国バス	甲山営業所 ～三次もののけミュージアム	3	運休	運休		
			甲山営業所 ～三次もののけミュージアム (世羅中学校経由)	1	運休	運休		
	尾道～甲山線		甲山営業所～尾道駅前 (大和桜土手経由)	4	2	2		
			甲山営業所～尾道駅前 (バイパス・長江経由)	4	3	2		
			甲山営業所～如水館前 (室町経由)	1	1	運休		
			甲山営業所～如水館前 (羽倉経由)	5	4	3		
	河内～甲山線		芸陽バス(株)	河内駅前 ～甲山バイパス東口	5	運休	運休	
	下津田 ～吉舎駅線		十番交通(有)	下津田～吉舎駅	3	運休	運休	
乗合 タクシー	せらまちタクシー (世羅西区域)	世羅交通(有) 備三タクシー(株) 三原交通(株)	世羅町内全域	4.5	運休	運休	予約型タクシー	
	せらまちタクシー (世羅・甲山区域)		世羅町内全域	4.5	運休	運休		
市町村 運営有償 運送	世羅町自家用 有償旅客運送	津名地区振興協議会	津名自治センター ～津島医院方面	1	運休	運休	予約制 火・金曜日に運行	
			津名自治センター ～三次中央病院方面	1.5	運休	運休	予約制 月・火・金曜日に 運行	
		黒川自治会	黒川自治センター ～津島医院方面	1	運休	運休	予約制 水曜日に運行	
			黒川自治センター ～三次中央病院方面	1.5	運休	運休	予約制 月・火・金曜日に 運行	
			黒川自治センター ～芸陽バス豊栄営業所方面	1	運休	運休	予約制 火曜日に運行	

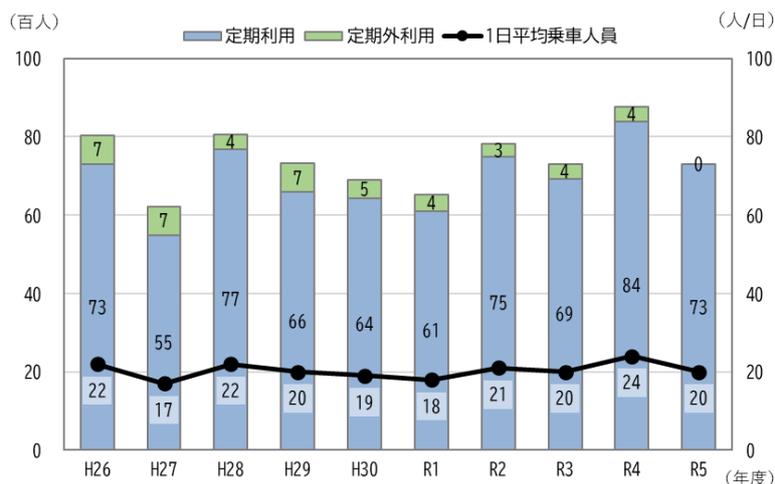
出典：世羅町公共交通マップ

## イ) 公共交通利用状況

### い) 鉄道

JR福塩線の備後三川駅の年間乗車人数は、近年 6,000～8,000 人程度で推移しており、1日平均乗車人数は20人程度です。沿線の4自治体（福山市、三次市、府中市、世羅町）で福塩線対策協議会を組織し、JR福塩線の利用促進や沿線地域の活性化に取り組んでいます。

図 備後三川駅の乗車人員と1日平均乗車人員



出典：西日本旅客鉄道（株）

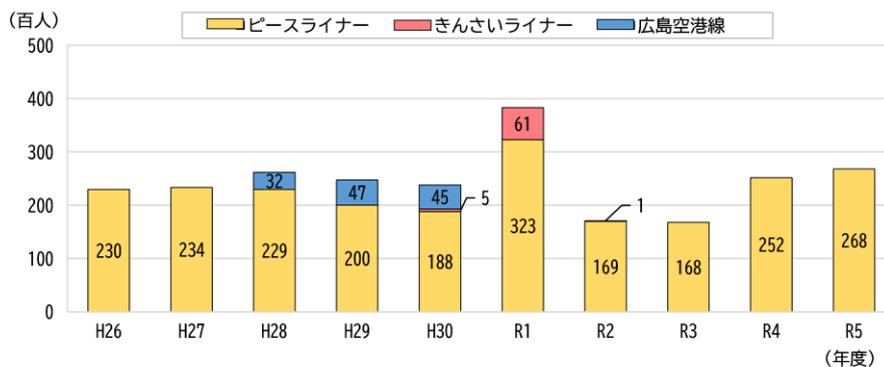
※平成30年7月6日～12月12日は豪雨災害のため代替バスによる運行

### ii) 高速バス

広島市と三次市甲奴町を結ぶピースライナーの年間輸送人員は、令和元年度を除き減少傾向であったが、コロナ禍で大きく減少した後、徐々に増加しています。

平成30(2018)年8月から福山市と三次市を結ぶきんさいライナーが運行しており、7か月間で約500人利用していましたが、令和2(2020)年5月1日より当面の間運休となっています。

図 高速バスの輸送人員



出典：(株)中国バス、三次市

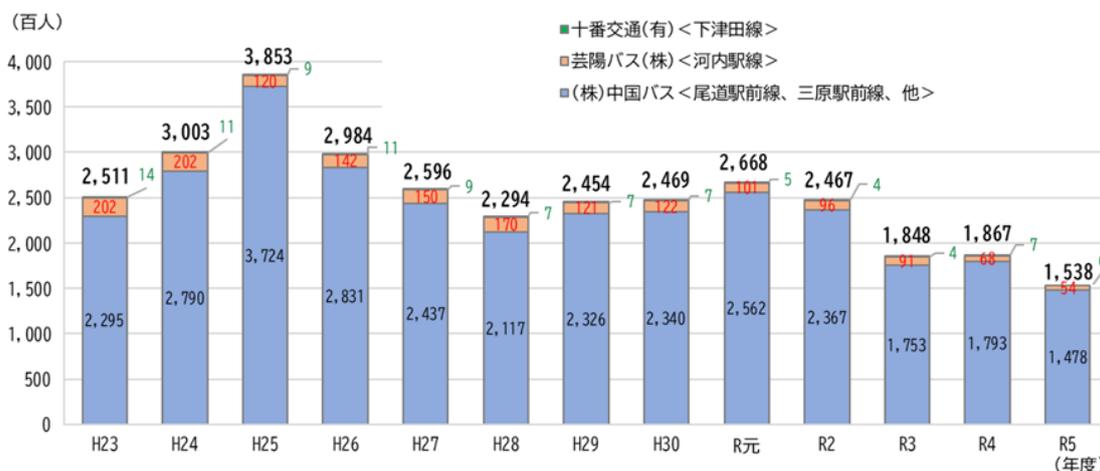
※きんさいライナーは令和2年5月1日より当面全便運休

※広島空港連絡バスは、令和2年9月30日をもって廃止

### iii) 路線バス

総輸送人員は平成26年度に減少に転じ、コロナ禍の影響等もあり令和3年度以降さらに減少しています。令和5年度の輸送人員は、10年前の平成25年度の約40%に減少した。

図 路線バスの事業者別の輸送人員



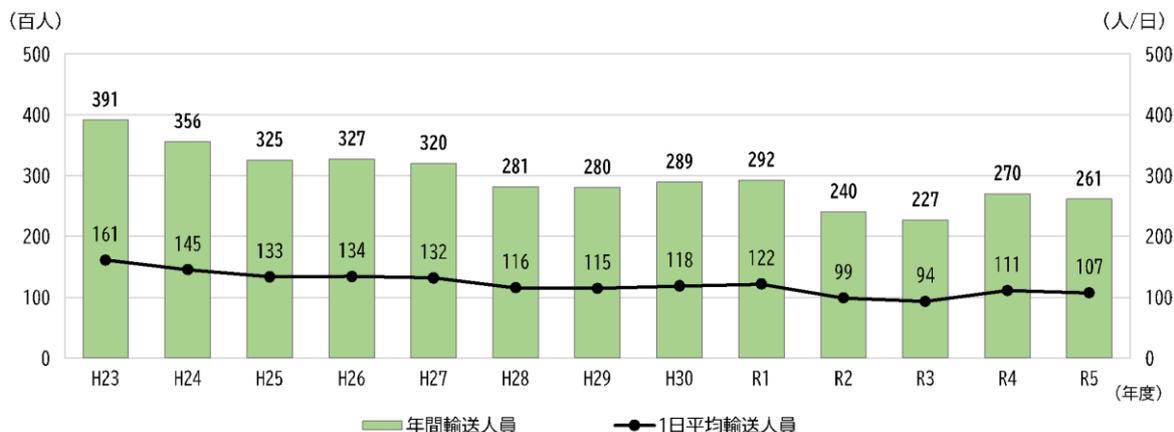
出典：(株)中国バス、芸陽バス(株)、十番交通(有)

### iv) せらまちタクシー

本町では、町内ならどこへでも利用可能な「せらまちタクシー」(乗合タクシー)が、平日に運行しています。

利用者数は平成23年度をピークに減少しており、コロナ禍を経て令和5年度の利用者数は平成23年度の約2/3となっています。身体的な理由や高齢者施設への入所等によって利用を辞める人がいるのに対して、新規利用者が増えていないことが要因と考えられます。

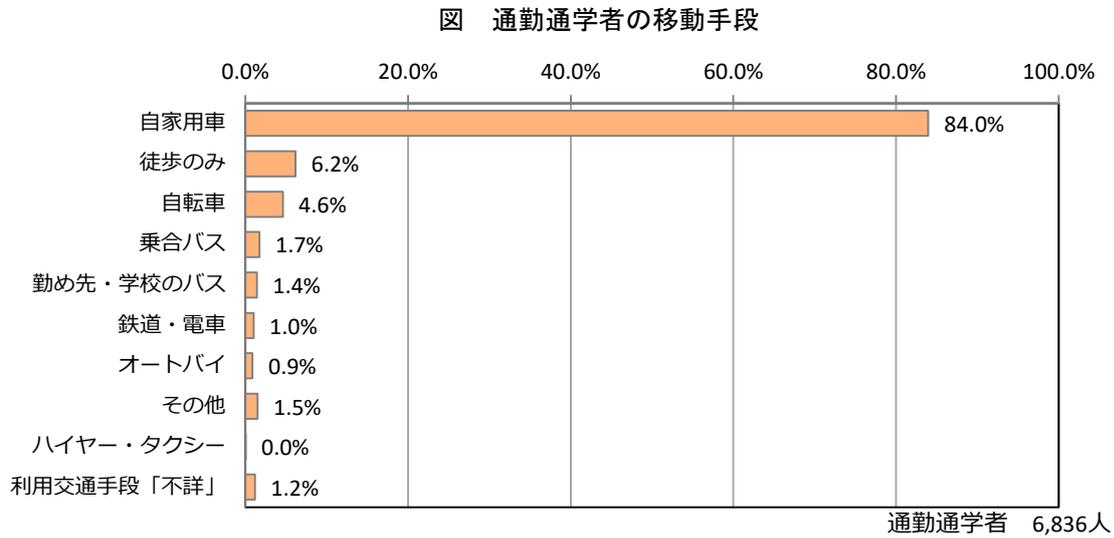
図 せらまちタクシーの利用者数



出典：世羅町企画課

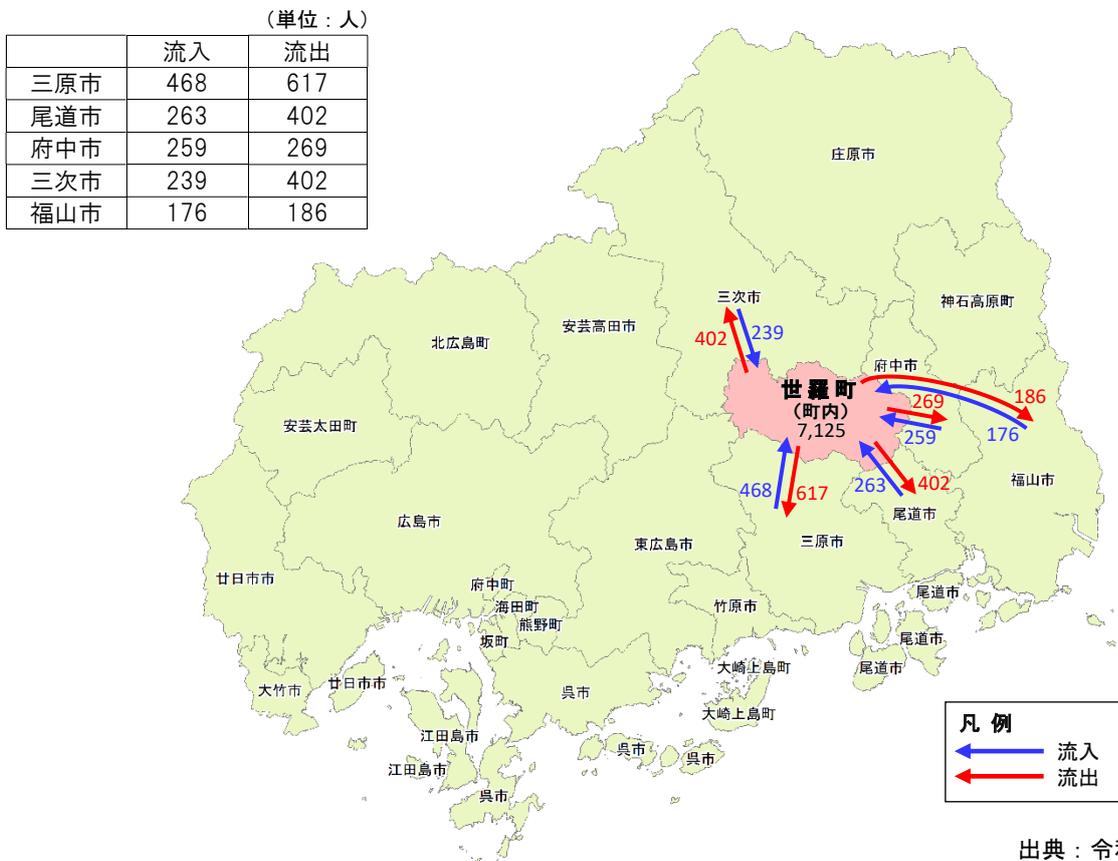
（参考）通勤通学者の移動手段

令和2（2020）年の通勤通学者の移動手段は、自家用車の割合が84.0%と圧倒的に大きく、次いで徒歩のみが6.2%、自転車が4.6%と続いています。



出典：令和2年国勢調査

図 通勤通学流動



## (5) 災害

### ア) 災害履歴

広島県は台風や集中豪雨などによる水害や地震災害、雪害を経験しています。

表 広島県内の主な自然災害（平成元(1989)年以降）

種類	名称	発生年	被害の概要
風水害	台風第19号	H3 (1991)	死者6人、負傷者49人、全半壊家屋492棟、 床上・床下浸水12,167棟
	6.29広島土砂災害	H11 (1999)	死者・行方不明者32人、家屋被害4,516棟
	台風第18号	H16 (2004)	死者5人、負傷者142人、全半壊家屋231棟、 床上・床下浸水3,988棟
	平成22年7月豪雨災害	H22 (2010)	死者6人、負傷者6人、家屋被害1,787棟
	平成26年8月豪雨災害	H26 (2014)	死者77人、負傷者68人、家屋被害4,749棟
	平成30年7月豪雨災害	H30 (2018)	死者行方不明者154人、負傷者147人、 家屋被害15,694棟
地震災害	平成12年鳥取県西部地震	H12 (2000)	一部損壊家屋6棟
	平成13年芸予地震	H13 (2001)	死者1人、負傷者193人、全半壊家屋753棟
雪害	平成17年12月大雪	H17 (2005)	死者3人、負傷者27人、住宅被害237棟

出典：世羅町国土強靱化地域計画（令和3年3月）

上記のうち、本町における被害は次のとおりです。

表 世羅町内の主な自然災害（平成元(1989)年以降）

種類	名称	発生年	被害の概要
風水害	平成22年7月豪雨災害	H22 (2010)	死者1人、負傷者1人、 半壊・一部損壊家屋4棟、床上床下浸水13棟
	平成30年7月豪雨災害	H30 (2018)	負傷者2人、住宅損壊12棟、住宅浸水79棟

出典：世羅町地域防災計画（令和4年3月）

## イ) 土砂災害

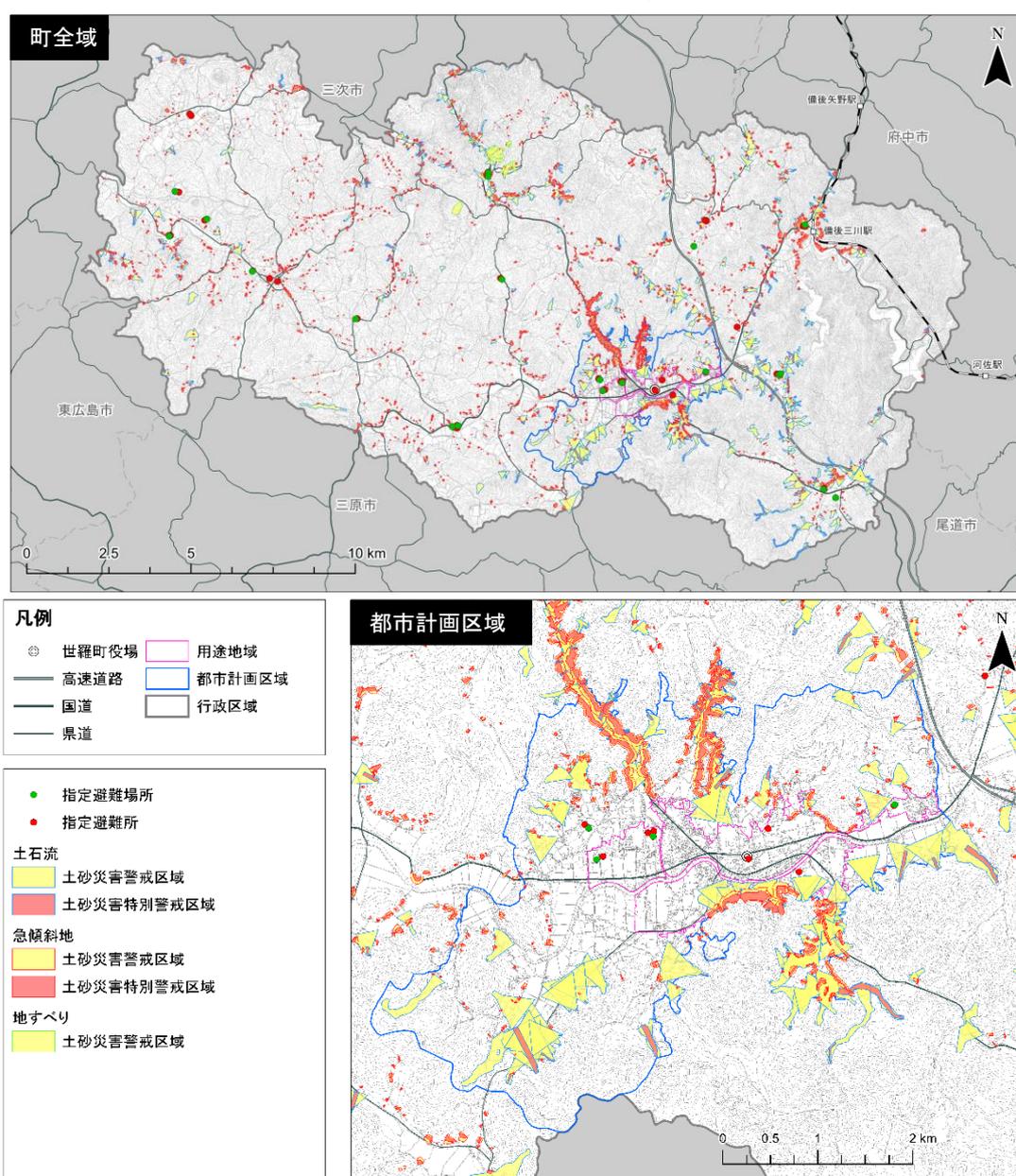
町内には、土石流やがけ崩れなどの土砂災害に対して警戒する区域が、3,018箇所（警戒区域1,561箇所、特別警戒区域1,457箇所）あります。

表 土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の箇所数

種類	世羅町		広島県		県に対する世羅町の占める割合	
	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域	警戒区域	特別警戒区域
土石流	422	359	16,910	15,343	2.50%	2.34%
急傾斜地	1,134	1,098	30,814	29,730	3.68%	3.69%
地すべり	5	0	117	0	4.27%	-
合計	1,561	1,457	47,841	45,073	3.26%	3.23%

出典：土砂災害警戒区域等指定箇所数一覧表（令和6年10月24日時点）

図 土砂災害警戒区域及び特別警戒区域



出典（土砂災害警戒区域等）：土砂災害ポータルひろしま

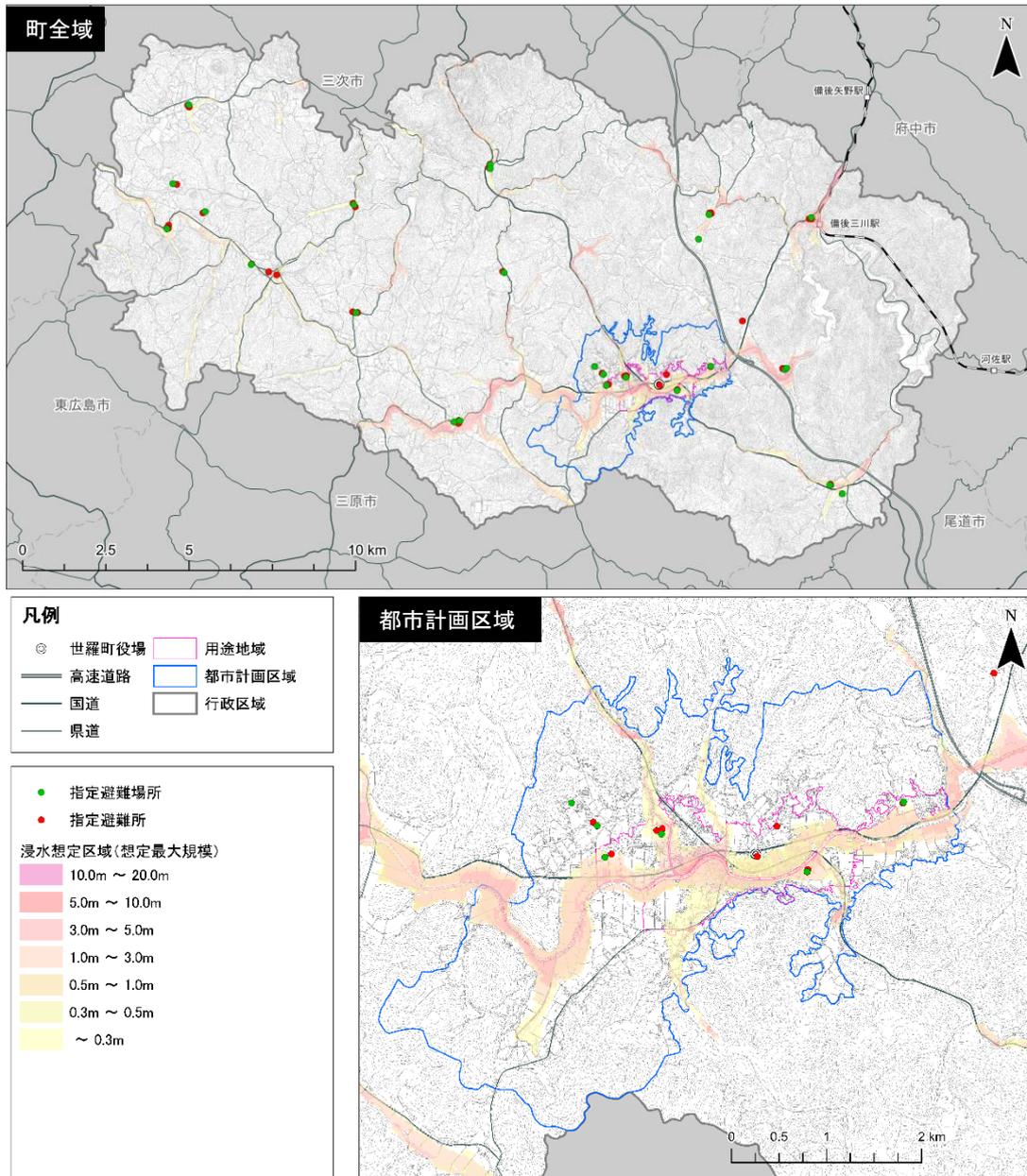
出典（指定避難場所・指定避難所）：世羅町地域防災計画（令和4年3月）

※指定避難場所・指定避難所は、世羅町土砂災害ハザードマップの一覧で「土砂」の欄に「○」があるもののみ表示

## ウ) 浸水想定区域（想定最大規模：L2）

本町では都市計画区域を東西に横断するように芦田川が流れており、中心部の市街地に広範囲に浸水想定区域が広がっています。また、都市計画区域外においても、備後三川駅周辺から北東側を流れる矢多田川流域で浸水想定深が10m～20mと町内で最も深くなっている箇所があるほか、道路と並行する河川の周辺などに浸水想定区域になっている箇所が分布しています。

図 洪水浸水想定区域（想定最大規模）



出典（洪水浸水想定区域等）：洪水ポータルひろしま  
出典（指定避難場所・指定避難所）：世羅町地域防災計画（令和4年3月）